

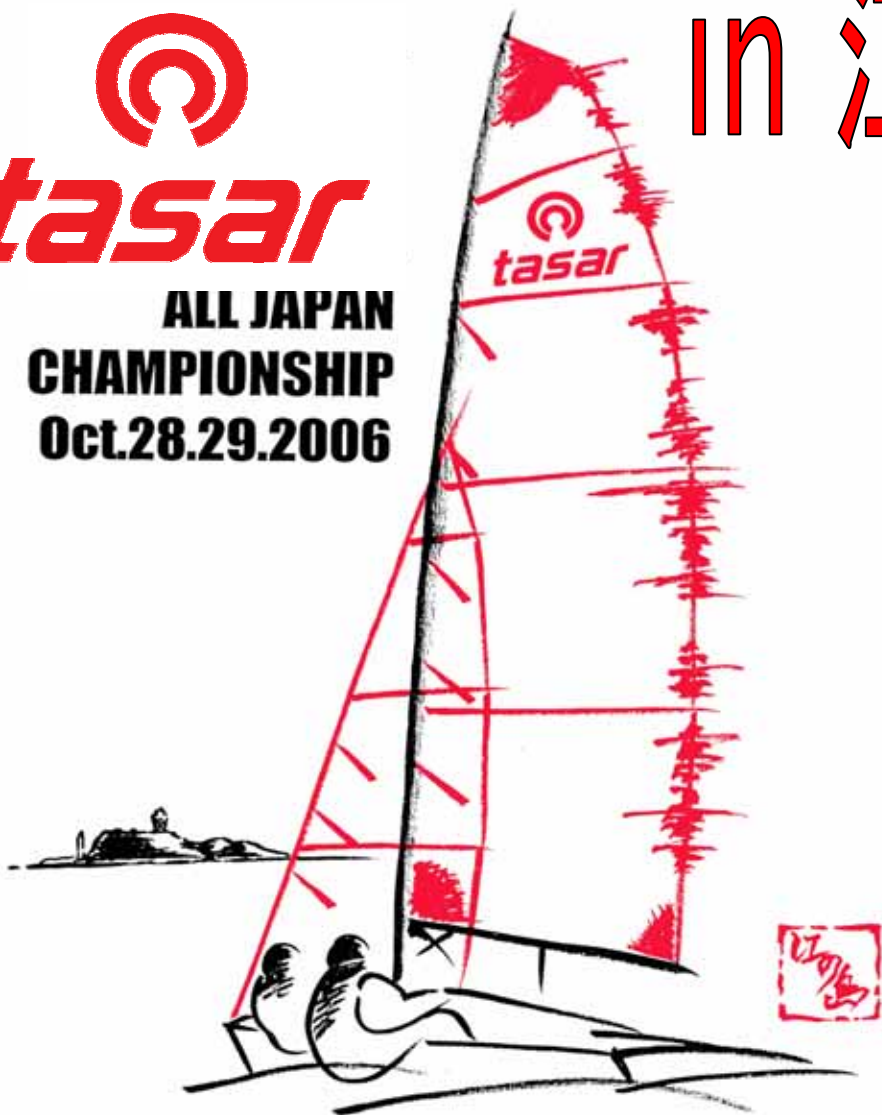
第21回

# テューザー級全日本選手権大会

# in 江ノ島



**ALL JAPAN  
CHAMPIONSHIP  
Oct.28.29.2006**



- 主催 : 日本テューザー協会
- 公認 : (財)日本セーリング連盟 (H18-32)
- 後援 : 神奈川県セーリング連盟
- 協力 : 株式会社湘南なぎさパーク
- 協賛 : 株式会社 白羊商会  
スターモア化粧品 株式会社  
パフォーマンス セイルクラフト ジャパン 株式会社



# フランク・ベスウェイト氏から 日本のテザーセーラーへ メッセージ!



## Recollections

The origin of the Tasar in Japan was that following some articles of mine in Kazi, which Otani san had arranged; I received a letter from Yoshikawa, Keiji san, beautifully handwritten in English. He explained that he was President of the biggest fleet of two-hander dinghies in Japan, they were slow, he had approached the designer to ask if the performance could be improved, and had received the answer "Paint them yellow". He had read my articles, liked my approach to sailing, and was it possible that I might do better?

Between one and two years later was a big day in my life. I had shipped Tasar 2103 from Sydney. Yoshikawa san had stored it at Enoshima.

It was rigged quickly and with no problem. The wind was strong but abating. The test sailor from Kazi was dressed for arctic duty, with warm seagoing clothes and heavy seaboots to his knees, and I was nervous that he would be a yacht sailor with no coordination. But he sailed very well, and was surprised to find that the harder he drove the Tasar the faster it went. In his boat test he commented that he usually found a speed limit and was most surprised not to find one. I would like to congratulate him on handling the new type of boat so well. Considering that he had little English and I had almost no Japanese and the wind was too strong for leisurely sign language between us, his task was not easy.

After a short sail with me the test sailor and Otani, Takao san sailed together and soon were laughing and shouting together with the boat flying. That day could not have gone better.

A little later Yoshikawa persuaded seven Japanese Tasar crews to travel and sail at the World Championships at Yeppoon. At the time this sort of travel by Japanese was unprecedented. We built extra charter boats, and positioned them with Pearson san who speaks Japanese, and one or two others who have some understanding, plus trailer and tools etc. But the huge impact in Yeppoon was Yoshikawa Kiyoko san leading "The Fools Dance" in full kimono. Her presentation brought everybody onto the dance floor. That broke the ice forever. Thank you, Kiyoko san.

A little later, at a World Council meeting in Adelaide, Yoshikawa san said, "We Japanese do not always want to be the guests. Some day we want to be the hosts, and I want it to be before I die." The Hayama Worlds were programmed.

Our hospitality at Hayama was beyond description. It had taken Keiji a mere seven years.

I salute his leadership.

Frank Bethwaite

こぼれ話:

今回、プログラムを作成するにあたり、テザーの設計者であるフランク・ベスウェイト氏にメッセージ寄稿をお願いしました。

この原稿の中に登場する「Kazi のテストセーラー」とは、現在オリンピックチーム監督である小松一憲さんなのだそうです。

また、小松さんと一緒にテストセールしたのは、パフォーマンスセールクラフトの大谷たかをさんです!

# 大会役員

大会会長	:金子 文雄	(日本テザー協会)
レース委員長	:末木 創造	(日本セーリング連盟)
プロテスト委員長	:榛葉 克也	(日本セーリング連盟)
プロテスト委員	:秋元 和子	(日本セーリング連盟)
プロテスト委員	:川北 達也	(日本セーリング連盟)
実行委員長	:村尾 隆	(日本テザー協会)



日本テザー協会  
会長:金子 文雄

日本で初めてテザーが浮かんだのは今から21年前の江ノ島の海でした。今年で21回目のテザー全日本選手権大会がここ江ノ島で開催されるのは、新たなスタートの年にふさわしい記念すべきイベントとなります。今年にはテザーが誕生して30周年で、その歴史に新たな1ページを開くマイラーセールが導入されました。全日本参加チームの過半数がすでにマイラーセールでレースに挑むことになりそうです。江ノ島フリートも全日本開催を契機に盛り上がりを見せています。参加艇数が過去最高を記録するかどうか、当日になるまで楽しみです。

コンペティティブでシビアなレースとフレンドリーさが不思議とマッチするクラスとして、次の10年の活躍を目指したいと思います。充実した楽しいレースのために、ルールへの厳守と安全性の最優先を願ってやみません。



テザー-江ノ島フリート  
キャプテン:村尾 隆

江の島全日本に多くのエントリーを戴き、皆様に御礼申し上げます。江の島全日本は2000年以来ですが、ほとんどのフリートメンバーにとって初めての開催となります。県連を始め多くの方々の御協力を戴かないと開催出来ない大会です。開催に御協力戴いた皆様に厚く御礼申し上げます。このことは、発展途上の江の島フリートにとっても一致団結して事に当ると言う、貴重な体験を我々に与えてくれました。

今回の大会では、レース以外にもパーティーなどで皆様に楽しんで戴けるように考え、工夫をしております。レースでは真剣に戦い、パーティーでは多いに羽目を外して楽しんで戴きたいと思っております。最終日に皆さんの笑顔で帰って戴けるような大会になることを願っております。

## 大会期間中の予定表

28日	登録受付	8:00 ~ 9:30	2F 陸上本部受付
	自主計測	8:00 ~ 9:30	ボートヤード
	開会式、艇長会議	9:30 ~	2F 大会議室
	最初のレースの予告信号	10:55	
	日本テザー協会総会	17:30 ~ 18:30	女性センター 2F 会議室
	レセプション	18:30 ~ 20:00	レストラン「Kai」
29日	最初のレースの予告信号	9:25	
	閉会式	16:00(予定)	2F 大会議室

# 第21回 テーザー級全日本選手権大会

2006年10月28日 ~ 2006年10月29日

江ノ島ヨットハーバー

主催：日本テーザー協会

(日本セーリング連盟公認：H18-32)

-- 帆走指示書 --

## 1 規則

- 1.1 本レガッタには「セーリング競技規則」に定義された規則を適用する。
- 1.2 日本セーリング連盟規程5 は適用しない。
- 1.3 競技規則 付則 G3 を次のとおりに変更し適用する。  
G3 チャーターまたは貸与した艇  
レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会の為チャーターした艇または貸与した艇には、クラス規則に違反している国を示す文字やセール番号(他の参加者と重複しない)を付けることができる。
- 1.4 テーザークラスルール C.6 (クルー重量)を適用しない。
- 1.5 レース公示と帆走指示書の間には矛盾がある場合、帆走指示書を優先する。 また、本文と英文が矛盾する場合には、英文を優先する。

## 2 競技者への通告

競技者への通告は、江ノ島ヨットハーバーの2階受付付近に設置された公式掲示板に掲示される。

## 3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する日の最初のレースの予告信号予定時刻90分前までに公式掲示板に掲示される。 レース日程の変更は、発効する前日の20:00までに掲示する。

## 4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、江ノ島ヨットハーバーの2階テラス付近のフラッグポールに掲揚される。
- 4.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号APの説明文中の「1分」を「40分以降」と置き換える。

## 5 レース日程

- 5.1 レースの予定  
2006年10月28日(土) 3レース  
2006年10月29日(日) 3レース
- 5.2 2006年10月28日(土)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、10:55である。  
2006年10月29日(日)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、9:25である。
- 5.3 レースの延期が長引いている場合、および2レース以上を同じ日に行う場合、次のレースの予告信号は、それぞれ実施可能となれば直ぐに行う。 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号が掲揚される最低4分以前に音響信号1声とともにF旗を掲揚する。
- 5.4 最終日は13:25より後に予告信号を発しない。

## 6 クラス旗

クラス旗はテーザー旗を用いる。 テーザー旗とは白旗の中央に赤色のテーザークラスのマークを記したものである。

## 7 レース・エリア

レースコースは添付資料Aの中のエリアAに設置される。

## 8 コース

- 8.1 添付資料Bの見取り図は、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序およびそれぞれのマークの通過する側を含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 添付Bのコース1を選択する場合には数字旗1を、コース2を選択する場合は数字旗2を予告信号以前に掲揚する。

## 9 マーク

- 9.1 マーク1、2、3は黄色の円筒のブイである。
- 9.2 帆走指示書11(コースの次のレグの変更)に規定する新しいマークは、オレンジ色の円筒のブイである。
- 9.3 スタート・マークは、スターボードの端にある神奈川県セーリング連盟旗を掲揚したレース委員会の信号艇と、ポートの端にあるマーク3である。
- 9.4 フィニッシュ・マークは、青色旗を掲揚したレース委員会艇と、青色フラッグ付きのブイである。
- 9.5 帆走指示書11.2で規定するコースのレグの変更の信号を発するレース委員会艇はマークである。

## 10 スタート

10.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色の旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークとの間とする。

10.2 スタート信号の5分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。この項は規則A4を変更している。

## 11 コースの次のレグの変更

11.1 コースの次のマークの位置を変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐにもとのマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。この変更は、新しいマークがまだ定位置になくても、先頭艇がそのレグを始める前に信号が発せられる。新しいマークを回航後に、回航するマークは、コースの形状を保つために更に信号を発しなくても、新しい位置に変更することができる。

11.2 艇は、次のレグの変更の信号を発しているレース委員会艇と近くのマークとの間を、マークをポートに見て、レース委員会艇をスターボードに見て通過しなくてはならない。この項は、規則28.1を変更している。

## 12 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ポートの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ色の旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークの間とする。

## 13 ペナルティ方式

13.1 付則Pを適用する。

13.2 規則31.2または44.1に基づきペナルティを履行した艇は、抗議締切時間内にレース・オフィスにおいて報告書を完成させなければならない。

## 14 タイム・リミット

14.1 先頭艇のタイム・リミットは、スタート信号の70分後とする。

14.2 先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュ後20分以内にフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった」と記録される。この項は、規則35とA4を変更している。

## 15 抗議と救済の要求

15.1 抗議書は、陸上本部内のプロテスト委員会の受付で入手できる。抗議は抗議締切時間内に、プロテスト委員会の受付に提出されなければならない。

15.2 抗議締切時間は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、60分とする。同じ抗議締切時間を、レース委員会と、プロテスト委員会による、レースエリアで目撃したケースに対する抗議、および救済の要求に適用する。この項は、規則61.3と62.2を変更している。抗議締切時間は、公式掲示板に掲示される。

15.3 当事者であるか、または証人として名前が挙げられている審問に関わっている競技者に通告するために、抗議締切時刻後20分以内に公示を掲示する。

15.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の公示を規則61.1(b)に基づき通告するために掲示する。

15.5 帆走指示書13(ペナルティ方式)に基づき規則42違反を認めたか、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストは、抗議締切時刻前に掲示される。

15.6 帆走指示書13(ペナルティ方式)、17(安全規定)、21(支援艇)、22(無線通信)及びテザークラスルールC2.1(C)の違反は、艇による抗議の根拠とならない。この項は、規則60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティは、プロテスト委員会が決めた場合には、軽減することができる。

15.7 レガッタ最終日では、審問の再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。

(a) 再開を要求している当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。

(b) 再開を要求している当事者がその当日に判決を通告された後20分以内。

この項は、規則66を変更している。

15.8 規則64.3(b)に関して、「責任ある機関」とは、日本テザー協会メジャーをいう。

## 16 得点

16.1 シリーズの成立には、2レースを完了することが要求される。

16.2 完了したレースが4レース以下の場合、艇のシリーズの得点は全レースの合計得点とする。

## 17 安全規定

17.1 出艇しようとする艇の艇長、および帰着した艇の艇長は、2階受付にある「出艇・帰着申告用紙」に自筆にて署名しなければならない。

17.2 レースからリタイアした艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。また、帰着後すみやかにリタイア申告書を提出しなければならない。

17.3 各艇の乗員は、衣類の着脱のために要するわずかな時間を除き、離岸から着岸までの間、十分な浮力で体重を支えることができる有効なライフジャケットを常に着用していなければならない。この項は、規則40.1を変更している。

## 18 乗員の交代と装備の交換

18.1 1艇あたり3名もしくはそれ以上の乗員がレースに参加する場合には、受付時に各レースの乗員予定をあらかじめ登録しなければならない。

18.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。 交換の要請は、最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

## 19 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。 水上では、艇はレース委員会計測員により検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

## 20 運営艇

運営艇の標識は、次の通りとする。

レース委員会艇：緑色の旗

ジュリーボート：白地に黒字で "JURY" の旗)

## 21 支援艇

21.1 チームリーダ、コーチその他の支援要員は、準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラルリコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

21.2 支援艇は白色旗で識別されなければならない。

21.3 支援艇は各日の最初の予告信号予定時刻の60分前までに受付にて登録しなければならない。

## 22 無線通信

艇はレース中無線通信を行なってはならない。 また、全ての艇が利用できない無線通信を受信してはならない。 この制限は、携帯電話にも適用する。

## 23 賞

賞は次の通り与えられる。

- ・ 1~6位
- ・ マスタークラス(乗員の合計年齢が80歳以上99歳以下)1位
- ・ グランドマスタークラス(乗員の合計年齢が100歳以上119歳以下)1位
- ・ スーパーグランドマスタークラス(乗員の合計年齢が120歳以上)1位

年齢に関わる表彰は実施された全てのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

## 24 免責

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加する。 規則4(レースをすることの決定)を参照のこと。主催団体は、レガッタの前後、レガッタ期間中に生じた物理的損害または個人の身体的傷害もしくは死亡に対するいかなる責任をも負担しない。

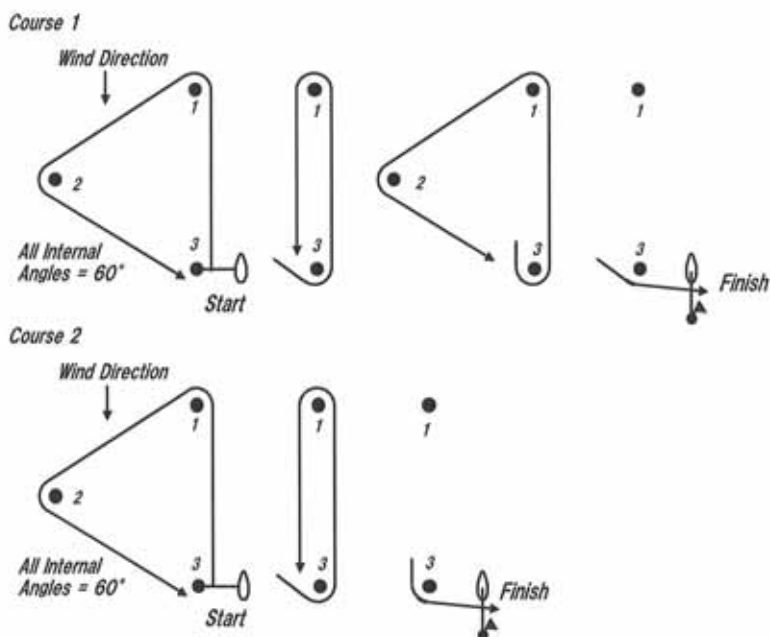
## 25 環境規程

JSAF環境キャンペーンの趣旨に則り、陸上、洋上にかかわらず、レース参加艇からのごみ投棄を禁ずる。

添付資料A



添付資料B



# 今年の頂点は、誰だ！

## テザー全日本選手権歴代優勝者

回	開催年	開催地	セールNo	スキッパー	クルー	フリート
1	1986	葉山	2203	安原 実郎	金井	葉山
2	1987	葉山		渡辺 和彦	小沢 拓身	野比
3	1988	葉山		高柳 俊成	松永 正人	野比
4	1989	葉山		大谷 たかを	ポール マーチン	江の島
5	1990	葉山		高柳 俊成	小沢 拓身	野比
6	1991	葉山	2215	尾崎 孝夫	天藤 公夫	芦屋
7	1992	葉山	2265	ジェイ レナハン	リサ レナハン	USA
8	1993	江の島	2572	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
9	1994	江の島	2202	池田 俊則	稲森 久彦	大阪北港
10	1995	江の島	2572	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
11	1996	江の島	2572	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
12	1997	芦屋	2592	小沢 拓身	及川 慎太郎	野比
13	1998	浜名湖	2669	堤 伸浩	堤 春菜	芦屋
14	1999	浜名湖	2674	ベン ニコラス	トーマス ウィンタ	AUS
15	2000	江の島	2395	本吉 譲二	本吉 夏樹	葉山
16	2001	和歌山	2572	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
17	2002	稲毛	2661	石井 浩一郎	小松 充	葉山
18	2003	葉山	2572	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
19	2004	芦屋	2765	田中 郁也	田中 紀子	稲毛
20	2005	津	2761	小松 充	小川 雅	葉山
21	2006	江ノ島				

## 大会に関する注意事項

### リコール番号の貼付け位置

リコール番号は、スターボード側の第1バテンと第2バテンの間中央にバテンに平行に貼り付けて下さい。  
また、圧着性粘着剤タイプですので、貼り付ける前に汚れを拭取り、貼付け後はしっかりと圧着して下さい。

### 江の島湘南港ゲート開閉時間

江ノ島には2ヶ所ゲートがあり、夜間車進入禁止です。江ノ島大橋入り口ゲート:22:00～5:00は閉鎖。  
湘南港ゲート(女性センター前):21:00～6:00は閉鎖しますので、車の方はご注意下さい。

### 出艇の際注意

大会期間中スロープは、大変混み合います。船台は基本的にバースへ戻すか、船台ハンガーをご使用下さい。また、船台にセール番号もしくは、持主名を明記するようご協力下さい。

江の島白灯台付近は、釣り客の釣糸がありますので、十分な距離を確保してください。

■ユーザー全日本選手権ハーネス配置図(2006年10月26日現在)

●凡例



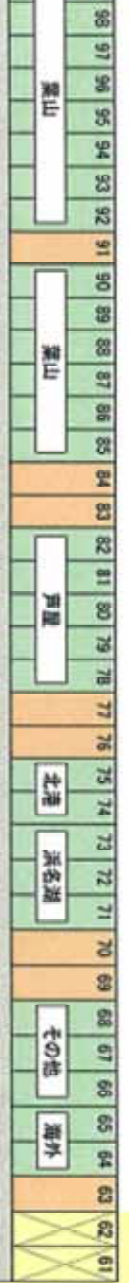
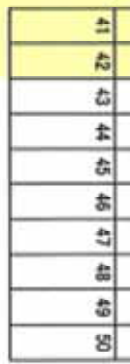
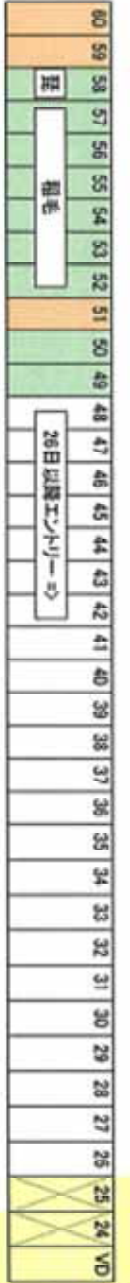
●レース終了後の計測(エリア他)については、計測スタッフの指示に従ってください

19	20
21	22
23	24
25	26

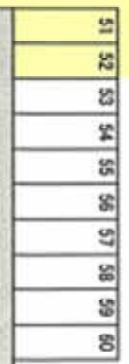
19	20
21	22
23	24
25	26

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

ヨットハウス



中央門



＜江ノ島口 環道 乗客駐車場＞

歩道 歩道

女性センター

小田急ヨットクラブ

ハース No	Sail No	フリート / 水域	スキッパー	クルー1	クルー2
78	2764	芦屋	中西 英貴	中西 英紀	
79	2712	芦屋	下村 晃司	安田 一真	
80	2670	芦屋	内村 将史	安藤 厚男	
81	2660	芦屋	佐藤 和紀	臼井 由利子	掛川 宏
82	2534	芦屋	児島 克博	鈴木 卓弘	
85	JPN 2395	栗山	本吉 謙治	穂積 洋平	神内 悠里
86	2761	栗山	小松 光	小川 雅	
87	2706	栗山	伊藤 由	石丸 寿美子	
88	2675	栗山	安川 実郎	戸田 隆久	
89	2671	栗山	小林 昌弥	内田 勝久	
90	2615	栗山	田口 裕介	藤 理子	
92	2768	栗山	遠辺 さおり	金子 重樹	久礼 亜伸
93	2720	栗山	岡 誠	建内 真	
94	2708	栗山	梅田 哲士	安藤 拓史	谷津 美幸
95	2621	栗山	山下 栄輝	山下 陽子	島中 圭子
96	2609	栗山	野本 雅史	永尾 岳史	武田 崇宏
97	2552	栗山	荒島 謙治	町田 亜紀	
98	2453	栗山	多井 豊一郎	阪井 祐介	田中 剛
99	2203	栗山	外石 真	矢柴 明美	

ハース No	Sail No	フリート / 水域	スキッパー	クルー1	クルー2
49	2709	栗山	野嶋 基昭	石川 洋二	
50	2739	博多湾	加野 靖紀	河野 恭子	
52	2073	稲毛	冨田 亮二	石内 勇子	
53	2602	稲毛	田中 真人	井上 敏	
54	2730	稲毛	宇佐美 重則	小田倉 里美	
55	2676	稲毛	金子 文雄	金子 ルミ	
56	2669	稲毛	平生 純一郎	平生 玲子	
57	2572	稲毛	鞍部 香	鞍部 竜也	
58	2663	琵琶湖	秋山 紀夫	高山 隼	
64	JPN 774	その他(英)	TIM KNIGHT	MAVIM KNIGHT	
65	2735	その他(蘭)	Constantin Udo	宮本 哲生	
66	572	その他	関口 真秀	関根 恒久	
67	2327	その他	池田 光孝	大串 英宣	
68	423	その他	玉置 淳	松原 茂樹	
71	2809	浜名湖	特須賀 慎	大河 雄一	
72	2707	浜名湖	石塚 恒志	白岩 通孝	
73	2657	浜名湖	長谷川 博啓	有木 洋介	
74	2738	大阪北港	三輪 記博	新石 じゅんこ	
75	2202	大阪北港	徳田 幹太	吉村 均	

ハース No	Sail No	フリート / 水域	スキッパー	クルー1	クルー2
59	2806	江ノ島	村尾 隆	津田 展明	
60	2741	江ノ島	齋本 浩一	塚原 展明	
2211	2211	江ノ島	佐々木 和人	樋口 佳久	
2223	2223	江ノ島	安河内 英治	杉浦 琴	
2466	2466	江ノ島	高橋 敬	長澤 治	
2652	2652	江ノ島	山分 信	田口 公一	
2732	2732	江ノ島	星野 直広	安田 真美子	松川 謙
2762	2762	江ノ島	赤井 寛一	村上 誠一郎	